

校長室の窓から

No.3 平成27年4月13日

いよいよ先週末から、高校総体に向けての予選会が、テニス競技を最初に始まりました。本校は、いわゆる浪人する生徒も含めると、例年85%程度の生徒が4年制大学に進学していきます。したがって、学力を伸ばすということが学校の大きな使命であり、最も力を入れている部分ではありますが、最終的に全人格的な成長を図る意味で、勉強や部活動、学校行事のそれぞれの取組を充実させ、バランスの取れた高校生活を送れるよう教育活動を推し進めています。そんなこともあり、昨年に引き続き今年も、私はすべての運動部の応援に行きたいと考えています。一生懸命な生徒の姿を見られることは、私にとって最も楽しい時間でもあります。運動部員にとって高校総体への挑戦は、野球部を除き（野球部は甲子園大会）、大会の持つ意味から言って、最も重いものです。また、3年生にとっては、高校部活動の総決算の大会となります。今年も、悲喜こもごも、さまざまなドラマが生まれることと思いますが、生徒はそれを糧に成長していきます。本校のすべての運動部の生徒にとって、充実した達成感が得られる大会になることを期待しています。**フレー、フレー、小坂井!**



この時期は風祭りという、古くから当地方に伝わるお祭りが学校近くの菟足神社で行われます。そこで、本校の校章の由来の一つでもある郷土玩具の風車が、地元の方々によって販売されます。今年、お祭りが豊川市の無形文化財にも指定されたとのこと。伝統は大切にしていきたいものです。 【中村】